

都筑区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
 ※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

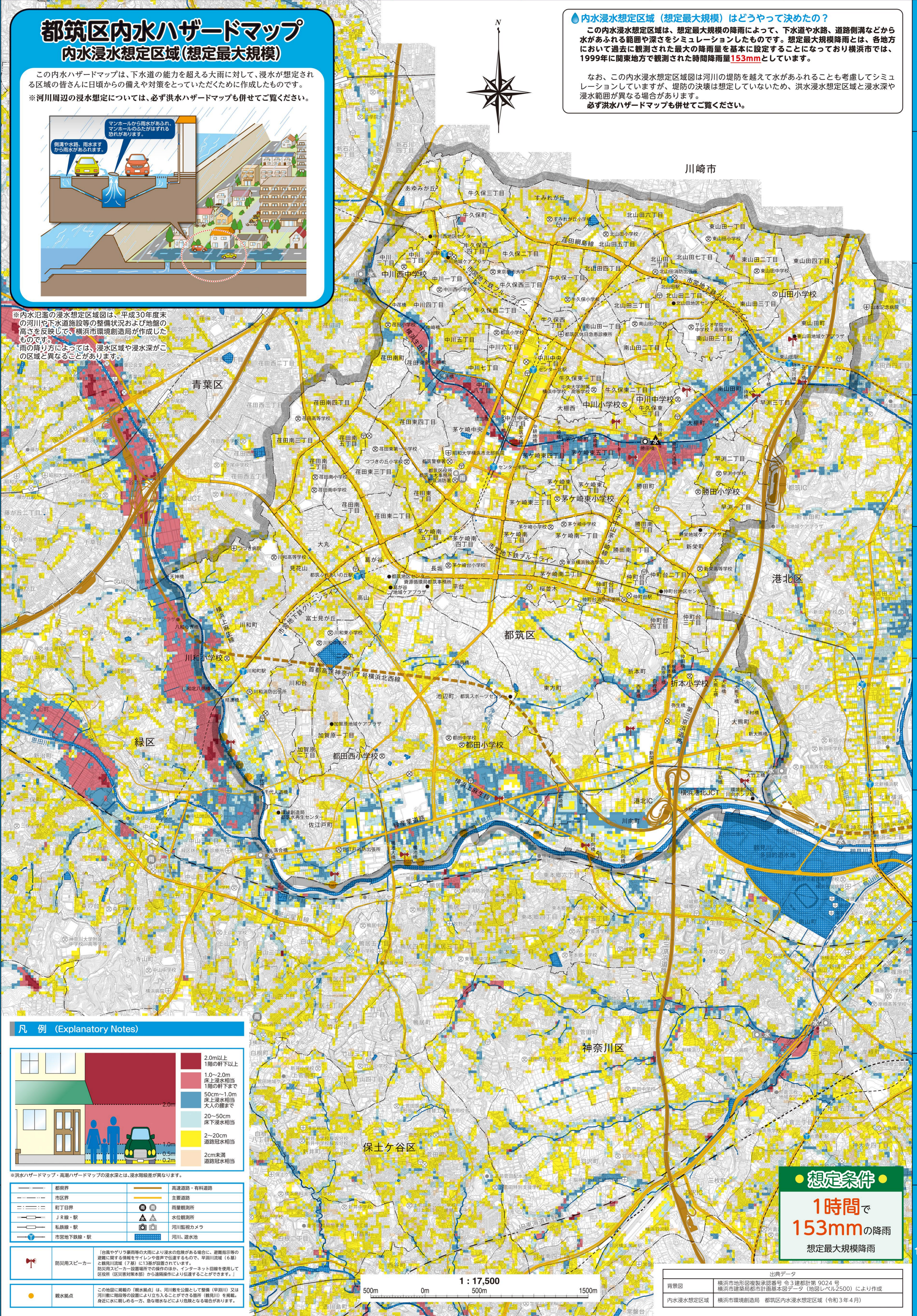


※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。
 雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

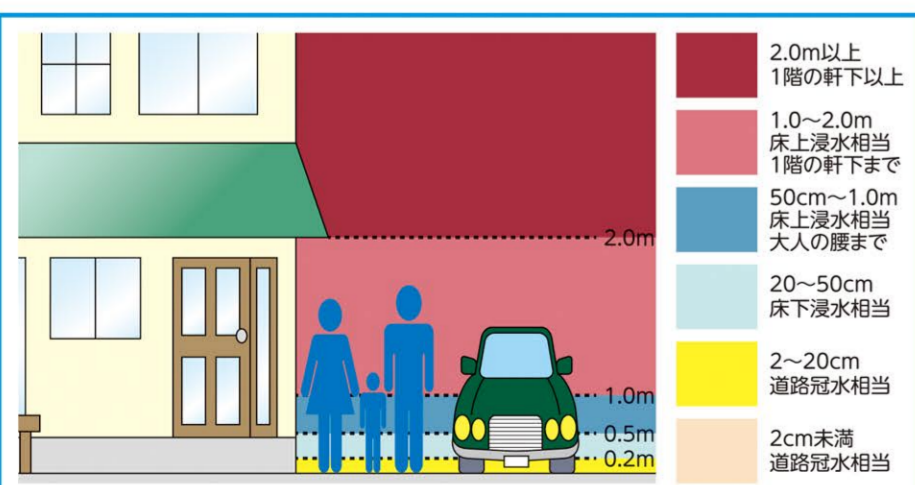
内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
 必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



凡例 (Explanatory Notes)



※洪水ハザードマップ・高潮ハザードマップの浸水深とは、浸水階級差が異なります。

市界	高速道路、有料道路
市区界	主要道路
町丁目界	雨量観測所
JR線・駅	水位観測所
私鉄線・駅	河川監視カメラ
市営地下鉄線・駅	河川、遊水池

防炎用スピーカー
 [台風やゲリラ豪雨等の大雨により浸水の危険がある場合に、避難指示等の避難に関する情報をサイレンや音声で伝達するもので、早瀬川流域(6基)と観見川流域(7基)に13基が設置されています。防炎用スピーカーは避難場所での使用のほか、インターネット回線を利用して区役所(区災害対策本部)から遠隔操作により伝達することがあります。]

観水地点
 この地図に掲載の「観水地点」は、河川敷を公園として整備(伊豆川)又は河川敷に階段等の設置により立ち入ることができる箇所(観見川)を掲載。身近に水に親しめる一方、急な増水などにより危険となる場合があります。

想定条件

1時間で
 153mmの降雨
 想定最大規模降雨

1:17,500



背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 都筑区内水浸水想定区域(令和3年4月)